

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は10月6日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～家庭内消費は前週の反動減か、前年を大きく下回る～需要喚起は業界外にも積極的な働きかけを～」

- ・9/19週の牛乳類の家庭内消費は、全品目総じて前週(9/12週)よりも販売個数は減少し、前年比93～94%台と前年を大きく下回る水準となった。牛乳はコロナ前の19年度実績と比較しても下回る水準となっている。台風15号の影響もあり、全国各地で天候が不安定であったことや、関西以西の地域の販売個数が大きく減少していることから前週(9/12週)に前倒し購入をした反動と推察される。なお、9/12週と9/19週の販売個数を平均すると前年をやや下回る水準となり、低調な傾向は依然変わっていない。
- ・ヨーグルト類についても、牛乳類と同様の動きとなっており前週よりも販売個数が減少、前年を下回る水準となった。
- ・週明けより年度下半期に差し掛かり、10月からは多くの食品で値上げが報じられているなか、11月からは牛乳類の値上げも想定されている。現下の低調な家庭内消費は、食品や電気料金、燃料費等の物価高が影響しているものと推察され、今後も家計防衛の動きは継続すると考えられることから、11月以降は更に消費が減退する可能性がある。
- ・そのため、家庭内消費を中心に需要の維持・拡大を図るべく、業界全体で最大限需要喚起を実施するとともに、業界外との連携した消費拡大に取り組むために積極的に働きかけることが重要である。

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(9/19週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同93.8%、成分調整牛乳:同92.7%、加工乳:同93.4%、乳飲料:同93.2%。

牛乳類トータルでは同93.7%

※参考:2020年度比は、牛乳:93.1%、成分調整牛乳:91.9%、加工乳:91.3%、乳飲料:94.2%(牛乳類トータル:91.6%)

※参考:2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は94.5%。

・販売単価は、牛乳:190.3円、成分調整牛乳:174.3、加工乳:190.4、乳飲料:150.0円。

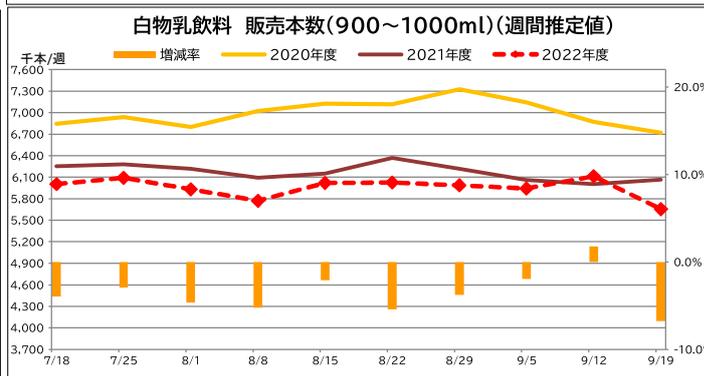
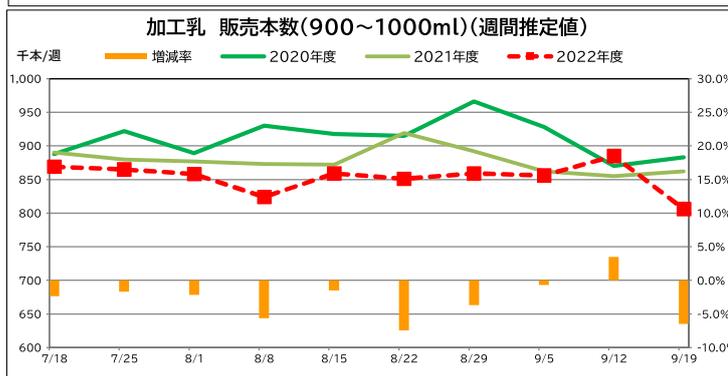
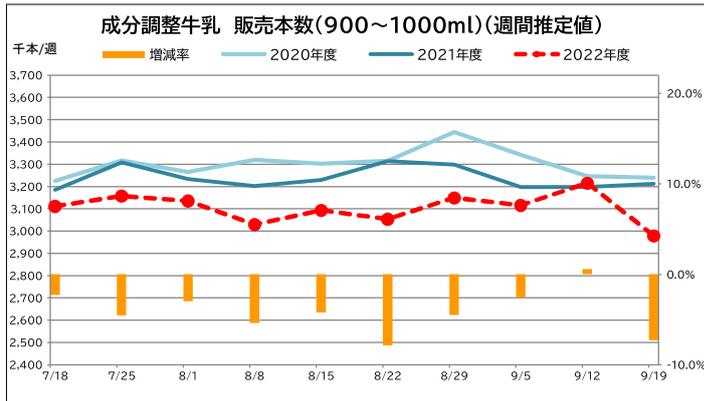
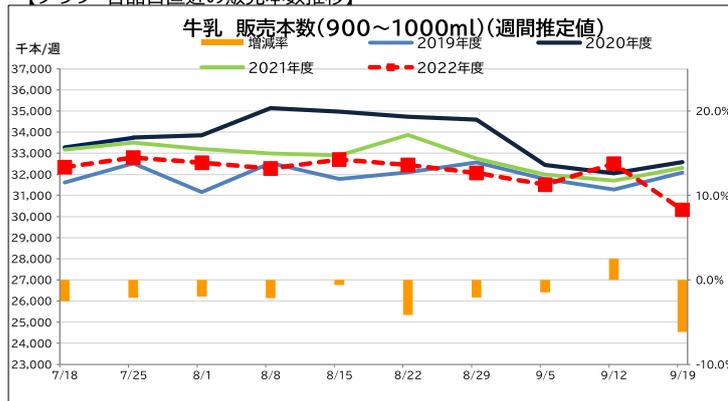
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-
トータル	販売個数	42,471	41,902	42,674	42,379	42,058	41,428	42,725	39,757
	販売個数前年比	97.6	97.1	98.9	95.3	97.5	98.4	102.3	93.7
	販売単価	183.8	184.2	183.5	183.4	183.5	183.3	183.8	183.3
牛乳	販売個数	32,546	32,274	32,700	32,450	32,062	31,512	32,511	30,316
	販売個数前年比	98.0	97.9	99.4	95.8	97.9	98.5	102.5	93.8
	販売単価	190.6	190.9	190.4	190.3	190.4	190.3	190.7	190.3
成分調整牛乳	販売個数	3,136	3,030	3,094	3,054	3,150	3,116	3,216	2,979
	販売個数前年比	97.0	94.6	95.8	92.2	95.5	97.5	100.6	92.7
	販売単価	174.3	175.1	174.6	175.0	174.2	174.5	174.4	174.3
加工乳	販売個数	858	824	859	851	859	856	885	806
	販売個数前年比	97.9	94.5	98.5	92.5	96.3	99.2	103.5	93.4
	販売単価	190.2	191.2	191.2	190.1	190.1	189.6	191.4	190.4
乳飲料	販売個数	5,931	5,773	6,021	6,025	5,987	5,944	6,113	5,656
	販売個数前年比	95.4	94.8	97.9	94.6	96.2	98.0	101.8	93.2
	販売単価	150.1	150.1	149.6	149.7	150.0	150.1	150.6	150.0

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

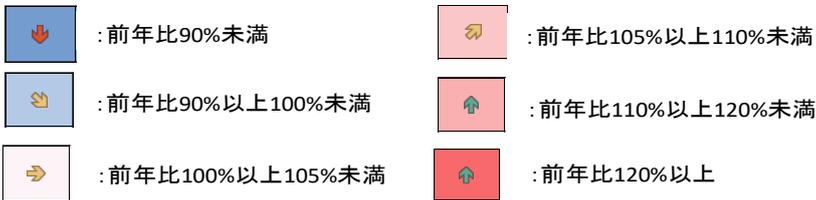
(1)直近の動向(表②参照)

直近(9/19週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目通じて販売個数が前週よりも減少し、前年を下回る水準となった。9/12週の台風による前倒し購入の反動が9/19週に作用したと考えられる。

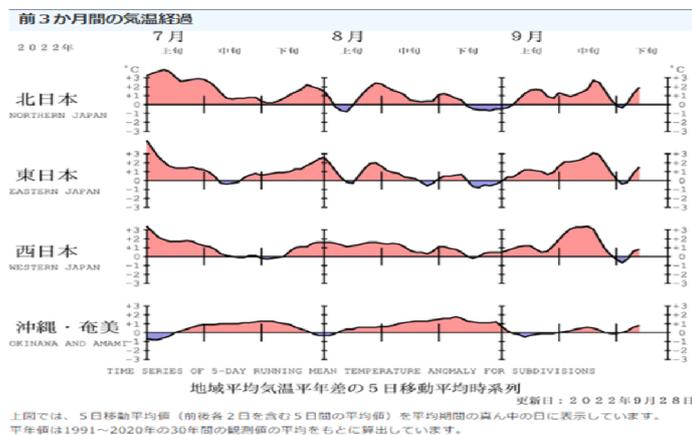
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-
ドリンクタイプ	➡	➡	➡	➡	➡	⬇	➡	⬇
個食タイプ	➡	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	➡	⬇

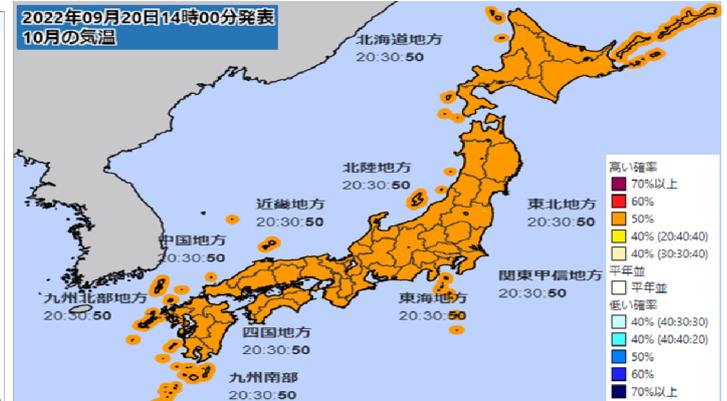


※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※9/19週の気温経過 出典:気象庁



※10月の気温予報(10/1~10/31) 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」